

(参考)ブラックバス類とは、オオクチバス、コクチバス、ブルーギルなどの、近年、福島県内の河川や湖沼で多く見られる北アメリカ原産の外来魚の総称です。

オオクチバス	生態と特徴
	<p>オオクチバスは、北アメリカ原産のスズキ目サンフィッシュ科に属する淡水魚で、1925年に釣りの対象、食用として神奈川県芦ノ湖に導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 典型的な肉食性の魚類で、魚類や甲殻類を主食とするほか、水生昆虫や陸生昆虫、鳥の雛まで食べます。・ 近年は、釣り(特にルアー釣り)の好対象魚として人気を博し、バス釣り人口はおよそ300万人にも達すると考えられています。 <p>(参照) 外来種ハンドブック.日本生態学会</p>
コクチバス	生態と特徴
	<p>コクチバスは、北アメリカ原産のスズキ目サンフィッシュ科に属する淡水魚で、オオクチバスと同属の近縁種です。1925年にオオクチバスと同時に神奈川県芦ノ湖に導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 主に魚類と甲殻類を食べます。・ 原産地では、オオクチバスに比べて流水域に生息することが多いとされていることから、オオクチバスがあまり侵入していなかった河川への定着が懸念されています。 <p>(参照) 外来種ハンドブック.日本生態学</p>
ブルーギル	生態と特徴
	<p>ブルーギルは、北アメリカ原産のスズキ目サンフィッシュ科に属する淡水魚で、アイオワ州を流れるミシシッピ川で採られた個体が1960年に移入されたとされています。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 魚卵や仔稚魚を好んで食べることが知られています。・ 全国の止水環境や流れの緩やかな河川の下流域に生息しています。 <p>(参照) 外来種ハンドブック.日本生態学</p>